

和泉市市民活動推進支援事業支援対象団体エントリーシート

令和3年11月26日

和泉市長 あて

団体名 和泉市少年少女合唱団

代表者名 小田 利江子

所在地

電話番号

和泉市市民活動推進支援金の交付を受けたいので、和泉市市民活動推進支援金交付要綱第7条の規定により、関係書類を添えて、支援対象団体の募集にエントリーします。

事業名	和泉市少年少女合唱団
申請コース	(1) 公益活動支援コース <input checked="" type="checkbox"/> チャレンジコース <input type="checkbox"/> ステップアップコース (2) 地域活性化コース <input type="checkbox"/> 地域活性化コース
事業費総額	_____ 411,000 _____ 円 (うち、対象経費 _____ 408,000 _____ 円)
支援金 交付申請額	_____ 100,000 _____ 円

1. 支援対象団体と決定した場合、和泉市の後援名義を使用しますか。

(  はい ) ・  いいえ )

2. 添付資料

- (1) 団体概要調書（様式第2号）
- (2) 規約、会則又は定款及び役員名簿の写し
- (3) 事業計画書（様式第3号）
- (4) 収支予算書（様式第4号）
- (5) その他市長が必要と認める書類

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

## 団体概要調書

フリガナ	イズミシショウネンショウジョガッショウダン		
団体名	和泉市少年少女合唱団		
団体の目的	合唱を通じての青少年の育成 地域文化発展への貢献		
市内事務所の 所在地			
	電 話		FAX ( )
フリガナ	オダ リエコ		
代表者氏名	小田 利江子		
連絡先 ※この申請について 問い合わせをしたと きに対応できる方	(連絡責任者氏名)※		電 話
	フリガナ ナガハマ ヒロコ		
	長濱 博子		FAX ( )
(住所) 上記事務所以外に資料送付を希望する場合はご記入ください。			
設 立 年 月	1983年4月	主な活動地域	和泉市
会報等の発行	☑ ( 1 回発行) ・ 無	会員数	10人
メールアドレス			
ホームページ	http://		
主な事業内容	地域のチャリティコンサートへの参加 大阪府合唱祭の出演 弥生文化博物館でのコンサート出演 体験練習会（毎回の練習会にて受付）		
主な活動の実績	和泉ボランティア・市民活動フェスタ2020 映像出演 市内の地域チャリティコンサートに参加（20,21年度 中止） 大阪府合唱祭の出演（20,21年度 中止） 京セラドームでのオリックス試合前国歌斉唱（20,21年度 中止） 弥生文化博物館でのミュージアムコンサート（20,21年度 中止）		
国・府・市及び 各種団体等から の他の補助金及 び委託実績 （過去3年間の 実績を記載）	年度	名称	金額（円）
	R1	ちよいず	61,212円
	R2	//	52,520円

事業計画書

1 事業名	和泉市少年少女合唱団
2 申請コース	(1) 公益活動支援コース <input checked="" type="checkbox"/> チャレンジコース <input type="checkbox"/> ステップアップコース (2) 地域活性化コース <input type="checkbox"/> 地域活性化コース
3 事業の必要性（※別紙添付可）	
① 事業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等	
子供たちの習い事が多様化し、合唱人口が減少している。 子供たちの歌う機会が減るなか、当団が和泉市でも数少ない児童合唱団として 存続している。	
② 事業を実施することにより達成しようとする目標、期待される効果	
校区や学年を越えた多くの子供たちの、合唱を通じた情緒育成の場となる。 表現力、コミュニケーション能力の向上が期待される。 地域の音楽文化発展に寄与。	
4 事業内容（※別紙添付可）	
①問題点、課題を解決するためにどのような方法を用いてどのような事業を実施しますか。	
演奏会や地域イベントに参加し、多くの子供たちに 活動や歌う楽しさを知ってもらう。	
② 実施期間（日時）	毎月第1、第3日曜日
③ 実施場所	和泉市立青葉はつが野小学校
④ 主な対象者	幼児から高校生
⑤ 参加予定者数	1回約10人
⑥ 告知方法	広報いずみにて体験練習会の記事を掲載、募集チラシ配布

## 5 事業スケジュール

次期(月)	内容
4月	月2回 合唱練習
5月	// 京セラドームでの国歌斉唱、体験練習会
6月	// 大阪府合唱祭、体験練習会
7月	// 海の日チャリティコンサート、体験練習会
8月	// 体験練習会
9月	// 体験練習会
10月	// 体験練習会
11月	// 三葉学園秋祭り、体験練習会
12月	// 弥生文化博物館クリスマスコンサート、体験練習会
1月	// 体験練習会
2月	// 体験練習会
3月	// 体験練習会

## 6 審査項目からみた事業の自己PR ※要綱別表第2審査基準参照

(実施事業について、どういう点が優れているかなどを審査項目ごとに記入してください。)

① 公益性	子どもたちの歌う機会が減る中、和泉市でも数少ない児童合唱団として活動しております。合唱を通して、子どもたちの情緒育成や市民の音楽文化の振興に寄与している。
② 継続性	地域のイベントに参加し、歌を披露することで、本事業のことを知らなかった人たちに対して、活動をアピールすることができ、音楽の楽しさを知ってもらうことができる。 支援金以外の財源としては、団員から会費を徴収している。
③ 実行性	定期的に練習を行い、その練習の成果を、各種イベントや演奏会に出演して発揮し、達成感・更なる努力の必要性へとつなげていく。講師の方や小学校の協力もある。これまでも地域のイベントに出演しており、イベントに出演できる体制は整っている。
④ 協働性	校区や年齢を問わず交流することにより、協調性や協働性、社会性を育むことができる。また、講師の方や小学校との連携、地域イベントに出演するための連携がとれている。
⑤ 公開性	地域イベントや演奏会に出演し多くの市民、子供たちに活動や歌う楽しさを知ってもらう。 広報誌にて体験練習会の告知、掲載を行う。 小学校に募集ポスターを掲示する。
⑥ 発展性 (先駆性・ 展開性) (集客性)	学習指導要領であるアクティブラーニングは、合唱活動でも取り組めるものであり、一人ひとりが主体性をもち、ハーモニーを奏するための協調性、そして責任感を養える最適な教育である。 合唱を通しての青少年の育成、地域文化発展への貢献のために、今後も事業を継続していきたいと考えている。

## 収支予算書

事業の名称： 和泉市少年少女合唱団

### 1. 【収 入】

（単位：円）

項 目	金 額	積算根拠
支援金	100,000	和泉市市民活動推進支援金
事業収入	240,000	団員会費 2,000 円×10 人×12 ヶ月
自主財源	71,000	団費
合 計	411,000	

### 2. 【支 出】

（単位：円）

費 目	金 額	積算根拠（数量、単価等）
報償費	391,000	指導者 7,500×24 15,000×5（イベント時） 伴奏者 4,000×24 8,000×5（イベント時）
印刷製本費	2,000	資料コピー代
役務費	15,000	大阪府合唱祭参加費
報償費（対象外経費）	3,000	クリスマスコンサート参加賞（300×10）
備品費（対象経費）		
備品費（対象外経費）		
合 計	411,000	
対象経費	408,000	

※費目は、別表第3（第10条関係）に記載されているとおりに記載してください。

※備品費（対象経費）には備品以外の対象経費の合計を3で除した額もしくは1品あたり上限5万円で算定した備品費のいずれか低い額を記載してください。

備考 実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書等を添付する必要があります。

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。